

【水戸市環境フェア関連事業で千波湖の自然を楽しく学びました】

## 桜川の生き物を調べました

～第9回千波湖環境学習会～

11月18日、第9回千波湖環境学習会を開催しました。温暖化の影響なのかここ数年那珂川を經由して桜川に遡上してくるサケが激減し、サケの卵を調べるのが難しくなってきたため、今回からこの時期のテーマは毎年恒例となっていた「桜川でサケの卵を調べよう」から「桜川の生き物を調べよう」に変わりました。

当日は天気にも恵まれ青空が広がり、気温も例年よりは高めで、気持ちの良い日差しの中参加者35名とともに学習会を行うことができました。

はじめに、桜川へ出発する前に「桜川でサケの卵を調べよう」で毎年恒例となっているもので、今回は、桜川に遡上していたサケについてクイズを出題しました。サケに関わる簡単な問題からサケの生態についての難しい問題まで様々な問題を出題しましたが、子どもたちは元気良く、一所懸命に答えてくれました。クイズの正解者には、水戸ホーリーホックからいただいたホーリーくんのレジャーシートなど、嬉しそうに受け取っていました。

次に、市役所から桜川的美都里橋まで歩いて移動して行きました。

桜川の中に入る前に、講師から桜川に入る際の注意事項や生き物採集の方法について説明を受けました。

川の水はこの時期にしてはあまり冷たくなく、子どもたちは、びしょびしょになりながら元気に水生生物の採取を行っていました。今回は、ハゼの仲間であるヨシノボリとヌマチチブや、モクズガニ、スジエビ、テナガエビ等様々な水生生物を採集できました。

子どもたちは、採取できた水生生物についての説明を興味深そうに聞いていました。



出発前のクイズ大会



生き物採取に夢中な子どもたち

提供品等ご協力をいただきました、ありがとうございます。

レジャーシート：水戸ホーリーホック様  
シャープペンシル：クリーニング専科（株式会社ユーゴー）様  
お菓子：東部燃焼株式会社様